

専北マルシェ

○エントリー団体

専修大学北上高等学校

○コラボメンバー(役割分担)

30以上の市内事業者の皆さま
:商品仕入れ・販売支援



○事業への思い・解決したい課題

「専北マルシェ」とは、2020年度から実践している専大北上高校グローバルビジネス科が取り組む、地域課題解決型プロジェクトです。当初は新型コロナ禍において厳しい状況が続いている地域の小売店・飲食店を、商業科の取り組みから支援できないかという思いのもとにスタートしました。高校でビジネスを学ぶ生徒が地域事業者の皆さまのご協力のもと、学んだ知識を社会で活かすことを目的として実施しています。

○コラボの経緯

2024年度は市内を中心に30の企業の皆さんにご協力をいただいています。

高校生は1・2年生混合の4~5人のチームとなり、協力店のリサーチ、交渉から全てを自分達で進めています。各チームの協力事業者選定において教員は一切の支援はなく、生徒のみで、地域の事業者の皆さまと、どのような連携で、どう進めるかを全て調整します。(もちろん、断られることも多数)

生徒自らが交渉にあたることで、自分達の世界を自分達で広げる機会をつくること、そして実践に向けた準備においても、自分達の交渉からスタートしているので、より強いコミットのもとに、活動を進めています。

○具体的な取り組み内容

2024年は11月に詩歌の森公園にて、30の企業の皆さんにご協力をいただき専北マルシェを開催し、2,500人を超えるお客様にご来場いただきました。実施に向けては6月から準備をはじめ、地域の事業者の皆さんと各チームがコミュニケーションをとりながら進めています。

○コラボの効果

自分達のみで実施するのではなく、実際に地域でビジネスをされている皆さんとの協働によって、よりリアルに「儲ける」ということに対して向き合うことができている。

また、事業者の皆さんそれぞれの魅力的なコンテンツを商品にできることで、多くの方にご来場いただけるイベントとなっています。

○今後の展開

今後は、より多様な授業ともつながった専北マルシェにしていきたいと考えています。例えば、国語科と連携した「商品の魅力をより効果的に紹介するためのコピーライティング」、美術科と連携した「パッケージデザイン」、英語科と連携した「外国人への商品価値の訴求」、社会科と連携した「エリアマーケティングの実践」、家庭科との連携による「商品の新しい活かし方の検討」など、商業科以外の教科との連携をさらに進めていきたいと思えます。

さらに専北マルシェをきっかけとして、地域の事業者の皆さまと今度はプロジェクトベースでのより深い連携を進めていきたいと考えています。